

No.171

龍谷の教育

2024.Summer



〒840-0054 佐賀市水ヶ江3-1-25 電話 0952-24-2244 FAX 0952-24-3828 URL <https://www.sagaryukoku.ed.jp>





恩師からの学び
教頭 原田 淳

先日、5月21日(火)は、本校の創立記念式典(宗祖降誕会)が実施され、そこで私は挨拶を行いました。主な挨拶の内容は左記の通りです。

『過去と他人は変えられない。自分と未来は変えられる』という言葉があり、今日は、それに付随する内容を話します。テーマは、『過去に心を注がない』です。

『無常』という言葉を辞書で調べると、『この世の一切のものは常に生滅流转して、永遠不变のものはない。人生のはかないこと。また、そのまま』となっています。『消滅流转』とは、『万物が永遠に生まれと滅びの間を巡り続けること』です。その『無常』という観点で物事をみた時、『今この瞬間』というものが、一瞬にして過去となります。その過去は、どのように悔やんでも取り返しがつきません。皆さんに知つていてほしいことは、自分の将来を決めるのは『過去の積み重ね』ではなく、『今の積み重ね』だということです。やり直しのきかない過去と違い、『今』は変えられます。たとえ失敗をしたとしても『今』に集中して生きていけば良いのです。それが、『今』を積み重ねるということです。また、結果として過去の価値が変わることもあります。『今に集中』すれば良いのです。『だからこそ、過去のことは潔く忘れることは『潔く忘れる』ことです。これか

ら始まる高校総体も同様です。失敗したとしても、しっかりと前を向き、今に集中してください。

Instagram (インスタグラム) を見ていたら、次のような文章に出会いました。

『今を積み重ねる』、『今に集中して生きる』ためには、振り返ることが必要となります。本校は親鸞聖人のみ教えを建学の精神とし、教育活動全般を通じて『心の教育』を行っていることが、他校にはない大きな特色です。毎日、朝礼では『浄土真宗の生活信条』を唱え、終礼では『恩徳讃』を齊唱しています。そのような時間を決して無駄にしないでください。さらに加えるなら、正門に入る際に礼拝する時間も大切にして欲しいです。

朝礼、終礼の時間や礼拝する機会に自分を落ち着かせ、しっかりと自らを振り返ってください。それが、皆さん自身の人間的成長に繋がり、学業・文化・体育部門での活躍、これから将来にも大きく影響するものと確信しています。

以上が挨拶の内容ですが、内容的是非はともかくこれは、私が恩師との出遇いがなければ到底思いつかない内容でした。私の恩師は75歳で現在も公立中学校の「初任者研修」に関わる仕事をされています。恩師から得た学びを、あらゆる場面で還元したいと考えています。また、恩師は本校の卒業生であります。日頃より本校の発展と生徒諸君の動向に注目されており、今後の活躍も期待されています。

世界は多様な価値観を受け止め、大切にしていく共生社会を目指し動いています。日本を代表する音楽プロデューサーの秋元さんの行動は、自分の仕事のために心がけられたことなのかかもしれません。これから社会で生きていくための大切なヒントを与えてくれているような気がします。私たちには、人の話を聞くときには自分にとって都合のよいところや興味のあるところだけを耳に入れ、そうではないところに対しても耳を閉ざし排除したり、「あなたは間違っている」とその人を否定したりする傾向があります。三年くらい前、だつたと思いますが、私は懸念を抱いたことがあります。それが、意図しない方向に受け止められて困惑したことがあります。こちらが尋ねた方が、真意をいくら丁寧に説明しても聞く耳

を持つてもらはず、相手の考え方を受け止めようとか、気持ちを理解しようとかいうことが伝わらない態度が続いたため、説明を諦めました。このような経験は初めてだつたのでとても残念な気持ちになつたことを思い出します。

共生社会では排除、否定など拒絶ではなく、いかに寛容に生きていくかが大切であり、それを実践するためには相手の立場に立つてその人に共感し、その人の意見を否定せずに、聞くことが求められます。相手を思いやる気持ちに欠けた自己主張が氾濫している社会は共生社会にはなれません。これからは「聞く力」の重要性が高まることは必然だと思います。淨土真宗は、お念佛の教えを聞き（聴聞・聞法）、阿弥陀如来様の大きな慈悲に感謝する宗教であり、「聞く（聴く）」ことをとても大切にしています。共生社会の理念と淨土真宗のみ教え（龍谷中学・高等学校の建学の精神）には親和性があるような気がします。学校は小さな共生社会だと思うのですが、その一員として「相手の話を素直に聞き、受け入れていく、大切にしていく」とことが私たち教職員には求められます。

また、それらを実践していくことが、よりよい教育、職場環境を創りあげることにつながるのでではないでしょうか。また、それらを実践していくことが、

同朋

(文責 長田 信一)



(文責) 横曾根

創立記念式典（宗祖降誕会）

5月21日は浄土真宗の宗祖である親鸞聖人のお生まれになつた日であり、「宗祖降誕会」と呼んでいます。また、親鸞聖人のご誕生なくしては本校の創立はないということから、この日を創立記念日とし、毎年創立記念式典を執り行っています。

今年は約5年ぶりに体育館に参集しました。司会進行、宗祖降誕会の説明を放送部が担当しました。また、仏教コース生の協力のもと、阿弥陀様にお供えをする献灯献華献香や、お経にメロディをのせた音楽法要を勤修しました。

賀県健康福祉部 ども家庭課より橋本暁美さまにお越しいただき、「子どもたちの貧困について」という演題でご講話いただきました。生徒たちは、子ども食堂やフードバンクなど佐賀県で行われている対策について知り、さまざまなかつら問題を解決していくためにまずは知ることが第一歩となると改めて感じていま



(文責 小杭)

校野球大会の壮行式が行われました。選手代表である剣道部の弓翔太（③文理・北茂安中）さんは、「これまでの鍛錬の成果を十二分に發揮し、佐賀県に龍谷の名を響き渡らせるよう正々堂々誠実に最後まで戦い抜きます」と高らかに宣誓をしていました。



4日には部活動体験を実施します。

おオーブンスクール
知らせる

Ryukoku Interview Vo.2

第62回佐賀県高等学校総合体育大会・第71回NHK杯佐賀県高等学校野球大会で輝かしい成績をおさめた各部の部長に「①大会の感想 ②これから抱負」をそれぞれ述べてもらいました。

【野球部】

①春先からの練習では、これから迎える大会は全て優勝するといった気持ちで練習に取り組んでいました。その気持ちと練習が、今回の大会の結果に繋がったと思っています。また、このNHK杯は野球部全員だけでなく龍谷高校の先生方、生徒の皆さんのが一丸となり掴んだ優勝でもあるため、今まで味わった事のない嬉しさを感じました。

②夏の大会では県で優勝し、甲子園で校歌を歌うという目標があります。その目標を達成するために、もう一度野球部全体で足元を見つめ直して頑張っていきたいと思います。

野球部部長 溝口大和 (③総合 福富中)



【水泳部】

①怪我で思うように練習ができない中で向かえた総体でした。自分たちは九州大会の結果でインターハイへの出場が決まります。そのため、県大会は九州大会に向けての通過点に過ぎませんが、今の自分がどれくらいのタイムで泳げるか不安でした。しかし、自分が思ったよりタイムがよく、インターハイ・九州大会に向けての励みとなりました。

②インターハイや国体が今年は地元である佐賀県で行われます。そのため、必ず表彰台に立って、佐賀県や日頃から支えてくれた親、コーチ、友達などに恩返しができるように頑張りたいです。

水泳部部長 市丸愛翔 (③文理 成章中)



【陸上部】

①僕にとっては最後の高校総体だったため、3年間の集大成を発揮するという特別な思いで挑みました。総体の1ヶ月前に肉離れをし、試合に出場できるか分からぬ状況でしたが、チームのみんなのサポートもあり、なんとか出場することができました。結果としては自分が思った通りにはならないことが多かったですが、悔いが残らない大会にすることができたので良かったです。

②北部九州大会でレベルの高い選手と闘えることがとても楽しみです。また、インターハイがかかった大会もあるので、インターハイに出場できるよう自分の力を十二分に発揮して悔いが残らないようにしたいと思います。

陸上部部長 辻 直輝
(③文理 城西中)



Ryukoku Interview Vo.2

【自転車競技部】

- ①一キロの県新記録を期待されていたため、それが僕のプレッシャーでもあり、今大会の目標でもありました。今大会で新記録を無事に更新することができ、周囲の期待にも応えることができたため、嬉しく思っています。
- ②今やっと、全国でも戦える力がついてきたため、九州総合体育大会やインターハイに向けて怪我なく頑張りたいです。また、高校1年生からの目標であった国スポで結果を残せるよう、尽力します。
自転車競技部部長 小林優太 (③総合 肥前中)



【空手部】

- ①今回の高校総体は、最低限の目標であった「全種目龍谷が優勝」は達成することができましたが、内容や勝ち方にこだわるという面では納得のいくことはできなかったです。

- ②今後行われる九州総体で優勝し、夏のインターハイに繋げていきます。

空手部部長 永渕偉弥 (③総合 大和中)



【サッカー部】

- ①チームがバラバラなった時もありましたが、何度もミーティングを重ね、最終的にはチーム一丸となって試合に挑むことができました。また、仲間たちによる最高の応援とそれに応えた選手たちのプレーで全国への切符を掴むことができました。それは「優勝して歴史を作る！」と選手たちで、日々の練習に取り組んできた成果だと思います。
- ②これから行われる九州大会・全国大会で勝ち上がり、龍谷高校の名を轟かせたいと思います。また、リーグ戦や選手権も残っているので、プリンギングリーグ昇格と佐賀県2冠を目指して頑張っていきます。
サッカー部部長 中村太朗 (③文理 宇城小川中)



【剣道部】

- ①全国選抜での悔しさを胸に、必死で今回の総体まで追い込んできました。そこには、自分達が必ず日本一になるという気持ちもありましたが、一番は「仲間、家族や兄弟、先生方など支えてくださる方々に恩返しをしたい」という想いがあったからです。優勝することができて、すごく嬉しかったです。そして何より、周囲の方々に恩返しができて良かったです。

- ②全国の舞台でもう一度戦えるチャンスを得ることができた今、来たるインターハイの為に毎日、昨日の自分を超えていきます。また、一緒に頑張ってきた男子の想いも背負い、必ず日本一になって「龍谷が最強」と言われるよう精進していきたいです。

剣道部女子部長 楠橋優那 (③文理 大和中)





龍谷 SPORTS & CULTURE

【テニス】

第62回佐賀県高等学校総合体育大会テニス競技(5月24日~27日・松浦河畔公園庭球場・森林公園庭球場)



男子団体 3位

楳 侑聖 (③東与賀) 松本涼太郎 (③城 北)

久保 風 (③芦 刃) 吉田 壮吾 (①東与賀)

真島 駆 (①三田川)

男子シングルス

3 位 楳 侑聖 (③東与賀) **九州大会出場**

男子ダブルス

3 位 楳 侑聖 (③東与賀) 松本涼太郎 (③城 北)

女子個人

ベスト8 野中 遥稀 (③神 埼)
ベスト8 弓 翔太 (③北茂安)
女子団体 3位

楳橋 優那 (③大 和) 小川 なな (③龍 谷)
友永 心絆 (③相 知) 橋本 真央 (③小 城)
安達 心希 (②三 澪) 石橋 杏愛 (①龍 谷)
實松久玲愛 (①龍 谷)

女子個人

2 位 楳 楠橋 優那 (③大 和)
ベスト8 友永 心絆 (③相 知)
ベスト8 小川 なな (③龍 谷)

第62回佐賀県高等学校総合体育大会(5月26日~27日・SAGAグラザ総合体育館)

男子団体 2位 **九州大会出場**

弓 翔太 (③北茂安) 川内 夢翔 (③神 埼)
野中 遥稀 (③神 埼) 古川 雄大 (③大 和)
森口 端瑛 (③西宮 塩瀬)
平田 謙心 (②龍 谷) 江頭 大聖 (②北茂安)

男子個人 **九州大会出場**

3 位 川内 夢翔 (③神 埼)
ベスト8 弓 翔太 (③北茂安)
ベスト8 野中 遥稀 (③神 埼)

女子団体 **優勝(九州・全国出場)**

楳橋 優那 (③大 和) 小川 なな (③龍 谷)
友永 心絆 (③相 知) 橋本 真央 (③小 城)
安達 心希 (②三 澪) 石橋 杏愛 (①龍 谷)
實松久玲愛 (①龍 谷)

女子個人

優 勝 小川 なな (③龍 谷) (**九州・全国出場**)
ベスト8 楳 楠橋 優那 (③大 和) (**九州大会出場**)
ベスト8 友永 心絆 (③相 知) (**九州大会出場**)

【柔道部】

令和6年度第62回佐賀県高等学校総合体育大会空手競技(5月23日~24日・基山町総合体育館)

男子団体 ベスト4

近藤 凉空 (③須 恵) 桂川 昂大 (③田丸主)
桂川 侑大 (③田丸主) 川口 真 (③神 埼)
飯盛 裕恩 (②昭 栄) 北島 弘流 (②芦 刃)
森永 優平 (②芦 刃)

男子個人81kg級

2 位 川口 真 (③神 埼)

男子個人60kg級

3 位 森永 優平 (②芦 刃)
3 位 飯盛 裕恩 (②昭 栄)



【空手道部】

第62回佐賀県高等学校総合体育大会(5月26日・佐賀東高等学校体育館)

男子団体 **優勝**

江下 蓮人 (③佐大附属) 永済 健弥 (③大 和)
光吉 泰雅 (②昭 栄) 小島 一悟 (②佐大附属)
小柳 優雅 (②武雄北) 山田 凱斗 (①東原済東部校)

女子団体 **優勝**

福崎 真央 (③福岡 梅林) 光吉菜々美 (③昭 栄)
宮崎 祥歩 (②鳥 栖) 古賀 万葉 (①鍋 島)

男子個人組手

1 位 江下 蓮人 (③佐大附属)
3 位 光吉 泰雅 (②昭 栄)

男子個人形 **1位** 永済 健弥 (③大 和)

女子個人組手

1 位 福崎 真央 (③福岡梅林)
3 位 光吉菜々美 (③昭 栄)

女子個人形 **1位** 宮崎 祥歩 (②鳥 栖)

【陸 上】

第79回佐賀県陸上競技選手権大会兼国民スポーツ大会選考会(5月11日~12日・SAGAサンライズパーク陸上競技場)

男子走高跳 **1位** 福山 直 (③鳥 栖) 1m97

男子B100m

1 位 向井 隆成 (①鍋 島) 11.34
2 位 延 蓮太朗 (①鳥 栖) 11.40
3 位 石川 晴飛 (①成 章) 11.41

男子 **4 × 100m R** 3位

内田琥太朗 (②城 東) 吉田龍ノ介 (①鳥栖西)
延 蓮太朗 (①鳥 栖) 石川 晴飛 (①成 章)

男子 **4 × 100m R** 3位

内田琥太朗 (②城 東) 松尾 隆広 (③川 副)
塙向 和季 (②城 東) 延 蓮太朗 (①鳥 栖)
吉田龍ノ介 (①鳥栖西)

七種競技 3437点

1 位 海老原もえ (②香 楠)

令和6年度第62回佐賀県高校総合体育大会(5月24日~27日・SAGAサンライズパーク陸上競技場)

八種競技

2 位 古川 幸樹 (③大 和) 4637点
3 位 辻 直輝 (③城 西) 4272点

男子やり投 **1位** 辻 直輝 (③城 西) 52m46

男子走高跳 **1位** 福山 直 (③鳥栖西) 1m94

男子棒高跳 **1位** 松尾 和氣 (①福富) 3m60

男子走幅跳 4位 小林 翔 (②金泉) 6m39

男子三段跳 4位 永済 凱都 (③鹿島西部) 13m64

男子400m 5位 松尾 隆広 (③川副) 50.92

男子 **4 × 100m R** 3位

内田琥太朗 (②城 東) 吉田龍ノ介 (①鳥栖西)
延 蓮太朗 (①鳥 栖) 石川 晴飛 (①成 章)

井島 輝宏 (①城 北)

男子 **4 × 400m R** 4位

内田琥太朗 (②城 東) 吉田龍ノ介 (①鳥栖西)
延 蓮太朗 (①鳥 栖) 松尾 隆広 (③川 副)

塙向 和季 (②城 東)

女子 **100m H** 3位 海老原もえ (②香 楠) 15.31

七種競技 **1位** 海老原もえ (②香 楠) 3798点

女子走高跳 5位 松浦 心花 (②鹿島西部) 1m40

令和6年度久留米陸上競技選手権大会(6月2日・久留米総合スポーツセンター県立陸上競技場)

男子200m **1位** 吉田龍ノ介 (①鳥栖西) 22.12

やり投 2位 坂上 拓望 (①川 副) 35m70

【男子バスケットボール】

第55回佐賀県高等学校バスケットボール春季選手権大会(3月20日、23日・三日月体育館)

ベスト16

2回戦 龍 谷 67-47 早稲田佐賀高校

3回戦 龍 谷 45-105 佐賀東高校

令和6年度唐松杯2024

(4月27日、28日・唐津工業高校体育館)

龍 谷 86-48 五島高校

龍 谷 41-97 唐津工業高校



2位グループで通過

龍 谷 47-85 清と高校

龍 谷 57-47 佐賀工業高校

2位グループ3位

令和6年度第62回佐賀県高校総合体育大会(5月25日、26日・唐津工業高校体育館・唐津東高校体育館)

ベスト16

2回戦 龍 谷 94-22 小城高校

3回戦 龍 谷 47-83 佐賀北高校

【女子バスケットボール】

令和6年度第62回佐賀県高校総合体育大会(5月25日、

26日・唐津工業高校体育館)

1回戦 龍 谷 70-18 牛津高校

2回戦 龍 谷 31-65 致遠高校



2位グループで通過

福崎 真央 (③福岡 梅林) 光吉菜々美 (③昭 栄)

宮崎 祥歩 (②鳥 栖) 古賀 万葉 (①鍋 島)

女子個人組手

1 位 江下 蓮人 (③佐大附属)

3 位 光吉 泰雅 (②昭 栄)

男子個人形 **1位** 永済 健弥 (③大 和)

女子個人組手

1 位 福崎 真央 (③福岡梅林)

3 位 光吉菜々美 (③昭 栄)

【弓道部】

令和6年度 佐賀県高等学校総合体育大会弓道競技(5月24日~26日・多久市緑が丘弓道場)

男子団体 3位

リーグ戦4勝2敗

男子個人 **九州大会出場**

3 位 大野 翔天 (③東脊振)

5 位 光武 壱真 (②金 泉)

女子個人 6位 水町 美心 (③諸 富)



【男子バレーボール】

令和6年度第62回佐賀県高等学校総合体育大会(5月24日~26日・吉野ヶ里文化体育館)

1回戦 龍 谷 0-2 佐賀学園



【女子バレーボール】

令和6年度第62回佐賀県高等学校総合体育大会(5月24日~26日・鳥栖市民体育館)

1回戦 龍 谷 0-2 牛津高校

【ソフトテニス】

令和6年度第62回佐賀県高等学校総合体育大会(5月24日~26日・佐賀学園)

1回戦 龍 谷 0-2 佐賀学園



【水泳】

令和6年度第62回佐賀県高等学校総合体育大会水泳競技大会(5月24日~26日・SAGAアクア)

男子400m個人メドレー **(九州大会出場)**

1 位 市丸 爽翔 (③成章) 4分25秒21(大会新記録)

男子200m個人メドレー **(九州大会出場)**

1 位 市丸 爽翔 (③成章) 2分5秒78

男子200m平泳ぎ **(九州大会出場)**

4 位 中村 奏太 (①佐大付属) 2分34秒67

男子50m平泳ぎ

3 位 中村 奏太 (①佐大付属) 32秒06

男子200m個人メドレー **(九州大会出場)**

6 位 中村 奏太 (①佐大付属) 2分21秒79

女子50m自由形

10 位 黒木 彩那 (③城 西) 32秒52

女子50mバタフライ

10 位 黒木 彩那 (③城 西) 34秒01

女子100mバタフライ **(九州大会出場)**

3 位 黒木 彩那 (③城 西) 1分14秒40

【自転車競技部】

令和6年度第62回佐賀県高等学校総合体育大会(6月1日・武雄競輪場)

学校対抗総合 58点

優勝 (46大会連続49回目)

チーム・スプリント **1位** 1分31秒93

山下隼 (①神埼)・松浦慶生 (①光 大和)・小林

スプリント **1位** 小林 優太 (③肥 前) 11秒13

1kmタイムトライアル

1 位 小林 優太 (③肥 前) 1分07秒66(大会新記録)

3kmインディヴィデュアルパーシュート

1 位 小林 優太 (③肥 前) 3分41秒26(大会新記録)

ケイリン **1位** 小林 優太 (③肥 前)

500mタイムトライアル

1 位 原 愛華 (③川 登) 39秒54(大会新記録)

2kmインディヴィデュアルパーシュート

1 位 原 愛華 (③川 登) 2分42秒81(大会新記録)

【野球部】

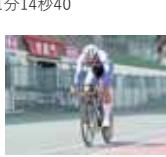
令和6年度春季佐賀市長旗高等学校野球大会(4月28日~5月6日・ブルースタジアム)

優勝 (NHK杯出場権獲得)

1回戦 龍 谷 3-0 佐賀工業高校

準決勝 龍 谷 10-0 佐賀西高校 (6回コールド)

決勝 龍 谷 7-2 佐賀商業高校



第71回NHK杯高等学校野球大会(5月24日~5月29日・ブルースタジアムさがみどりの森球場)

優勝 (年ぶり9回目)

1回戦 龍 谷 7-3 太良高校

2回戦 龍 谷 9-0 佐賀学園高校 (7回コールド)

準決勝 龍 谷 7-0 烏栖工業高校 (7回コールド)

決勝 龍 谷 1-0 佐賀商業高校

決勝 龍 谷 1-0 佐賀商業高校



龍谷 SDGs なう



『龍谷中学校高等学校SDGs行動憲章』4つの柱に基づき、SDGs推進教育を行っています。

学校法人佐賀龍谷学園龍谷中学校高等学校SDGs行動憲章

- ①持続可能な社会を創造できる人を育成する教育を提供します
- ②持続可能な社会を創造できる人を育成する教育の場を創造します
- ③持続可能な社会を創造する地域の実現に貢献できる地域の基盤となります
- ④理想的な生徒の育成を実現するために教職員のディーセントワークを実践します



『フェアトレード』を見て・感じて・考えて、そして動き出す！

(5月11日)



5月第2土曜日「世界フェアトレードデー」に合わせて、佐賀のアバンセでフェアトレードフォーラム・映画鑑賞会「ザ・トゥルーコスト～ファストファッション 真の代償」・講演会「教えて！SDGsとフェアトレード」・フェアトレードファッションショーが行われた。このファッションショーに本校中学生が、大学生・高校生と共に、フェアトレードの服を身にまとい、参加した。今後は、世界の真実に目を向けて賢い消費者になり、「フェアトレード」を広げ、さらに「つくる人とつかう人」が笑顔になれる世界を作っていくたい。



【生徒感想】

- 普段着と合わせて着られるデザインだった。何よりも、有害な農薬や化学肥料がなく、体に優しい素材で、肌に触れると柔らかさを感じられ、着心地は最高だった。全てがフェアトレードの服ではなくても、一部にコーディネートしてもいいと気付いた。フェアトレードをまずは身近な人に広めていきたい。
〔理グロ3年 星川 琉偉（昭代第一）〕
- ヨーロッパではラベル（フェアトレードであるかどうか）を見て買うのは、当たり前であることを知った。この意識を日本でも伝えていきたいし、学んだことをアウトプットして目標を変えて考えていきたい。
〔理グロ3年 武富 晴生（神野）〕
- 映画では華やかなファッション業界の裏側に潜む知られざる真実を目の当たりにした。フェアトレードについてはある程度は知っていたが、しっかり賞金を払うのみならずそれ以外にも取り組んでいることを知り、とても素敵だと感じた。今後は、フェアトレード商品を応援していきたい。
〔理グロ3年 中島 蒼真（鍋島）〕



(文責 德森)

水ヶ江テナントプロジェクト【株式会社Ma様・株式会社井手解体実業様×龍谷（中学校・高等学校・こども園）によるコラボレーション企画】2年間の集大成のご報告 SDGs×アートで共生の街づくり「龍谷アートギャラリー～ありがとう水ヶ江商店街～」



令和4年8月に中学2年生職場体験グループがテナント活用のアイデアを提案し、その後、高校保育コース1年生、中高美術部・書道部、中高生ボランティアと活動の輪を広げ、LGBTQ+を尊重する「ALLY」や、SDGsを達成する世界をテーマとしたウォールアート制作が始まつた。多様性を認め合う「多文化共生の社会実現」を目指して。

令和5年2月末、龍谷こども園の園児たちとの共同制作が実現した。大きな「共生の樹」の周囲に笑顔のこども達や動植物がいきいきと描かれ、ほのぼのとした壁画が完成した。

そして令和6年2月、こども園や中高生の絵画・造形作品を展示した「龍谷アートギャラリー」をつくった。また、高校保育コース1年生が、地球の未来を担う園児が、楽しみながらSDGsを学べるレクリエーションを企画して、遊びの中で自然に、環境問題やゴミ問題について学ぶ仕掛けを工夫した。さらに、SDGs推進教育「ウクライナ理解講座」受講後、佐賀県在住のウクライナの方々に手ほどきを受け、中高生が手づくりしたウクライナ伝統のモタンカ人形も展示了。

こうして、令和4年度と5年度の2年間で、龍谷中・高・こども園の生徒・園児たちなど、総勢192名におよぶ参加者での共同（協働）制作&イベントを達成することができた。共同制作・イベントの様子は、佐賀新聞や西日本新聞、サガテレビ等でも紹介された。

来場された保護者の方々、応援いただいた水ヶ江商店街の皆様、このプロジェクトを見守りご協力いただいた全ての方に感謝している。

(文責 田久保)



それぞれの個性がキラリと光る、 魅力の学び

「SAGAものすごいフェスタ10」に参加! アウトプットすることのおもしろさを体験

龍谷中学校
中高一貫理数グローバル

5月19日(日)、SAGAアリーナで開催された「SAGAものすごいフェス
タ10」に3年生6名、2年生3名が参加しました。

このイベントは「ものづくりのリアルに、触れて、感じよう!!」をテーマ
に、多数の企業・団体が参加し、小中学生を中心にものづくりを体験できる
コンテンツ・ワークショップが用意されていました。

本校は、予約者限定ワークショップの「ブースの一つとして「CoderDojoさ
が&龍谷中学校・高等学校中高一貫理数グローバル」というコラボチームで、
プログラミング体験のサポートを行いました。

参加者は主に小学生で、『Scratch』(アプリ)と簡単な電子工作機を用いて、
楽しくプログラミングを体験してもらいました。今回は「カタパルト(投石
機)を作つてボール飛ばし大会」ということに挑戦し、本校生徒がナビゲー
ターとなり、プログラミングの手順を示したり、ヒントを出したりしながら、
小学生が自分で取り組めるようにサポートしました。参加した河野陸斗さん
(③兵庫小)は、「何よりも答えを教えずにサポートするのが難しかったです。
ただし、小学生が理解しやすいように導いていくことを工夫する面白さを自
分自身感じました。」と振り返っていました。

大きな会場でかなり多くの参加者があつたビッグイベントに参加してみた
生徒は、初めは緊張していたものの、徐々に楽しさを感じはじめ、終わり頃
には自信に満ちた表情に変わっていました。

(文責 久我)

自然災害の恐ろしさを学ぶ

4月26日(金)、全校生徒は防災教育を兼ね
た新入生歓迎バスハイクで長崎県雲仙市を訪
れました。

最初に「がまだすドーム」(雲仙岳災害記念
館)を見学し、今なお火山活動を続ける普賢
岳の様子を映像やジオラマなどで詳しく学び
ました。

次に「旧大野木場小学校被災校舎」をグル
ープ(縦割り班)ごとに見学しました。一九九
一(平成三)年六月三日に起きた雲仙・普賢
岳(長崎県島原市)の大噴火によって全焼
した様子をガイドの方が丁寧に説明されまし
た。その話に聞き入り、火碎流遺構を目の當
たりにした生徒の驚きは大きかつたようです。
改めて、自然の力、災害の
恐ろしさを考える貴重な機
会となりました。

先輩と一緒に行動したり、
バス車内で話をしたことに
より、新入生も少しずつ中
学生の仲間入りをした実感
がわいてきました。

(文責 松尾)



さまざまな感性が輝く、「校内スケッチ会」

5月24日(金)、中学校校内スケッチ会を行いました。

◆ 中学1年生の題材は、「みんながつてみんない！魅力あふれる友だちの顔」でした。ひとりひとりの違いや良さを認めながら、友だちの魅力をいつそう引き立たせる表現を心がけ、のびのびと描くことを楽しめます。

◆ 中学2年生は、「思いっきり笑顔！めっちゃ変顔!! 表情豊かな私の顔」でした。いろいろな表情に顔を動かし、見る人が思わず笑顔になるような、思わずふき出してしまうような表情豊かな顔を描きます。

◆ 中学3年生は、「自分とは何か。自己の内面と向き合う自画像」でした。自分といふものを深く見つめ、内なる自分との対話を経て、外見的特徴をとらえるのみならず、自分自身の内面まで描くことを目指します。

昨年度は風景画でしたが、今年度は人物画に挑戦しました。描くことは自己表現でもあります。「作品は我が子」であり、「作品作りは自分で育てて」です。これから大事に育てて欲しいと思います。作品を育てあげることは、きっと自分自身を育てることにつながります。生徒一人ひとりの良さを引き出し、一人ひとりが、みんな違う「自分の色」をためらわぬ出せる美術教育を実践したいと思います。そして、個性を尊重する心、多様性を認め、心、あらゆる生命を愛おしむ心など、美術でこそ育める力を伸ばしていきたいと思います。

(文責 田久保)



6月1日(土)、本校講堂において生徒、保護者を対象とした「情報モラル講演会」が行われました。

特定サイバー防犯ボランティアの矢野億子さんを講師に迎え、SNSに関する利便性・危険性について講演いただきました。

iPadをさまざまな場面で活用する本校においては、上手に活用することが求められます。ですが、人によっては使いすぎ状態になっているケースもあり、使い方のルールや節度を見直すことが重要になっています。

今回の説明でも「ネット依存し過ぎないこと」・「未成年者に関する危険な事案」も多発していることなどを具体的に示していました。

(文責 松尾)



SNSに対する正しい知識を身につける 「情報モラル講演会」

九州龍谷短期大学



子どもフェスタを開催します😊

子どもフェスタは、学生の学修成果を地域に還元することを目的として、2016年から開催されているイベントです。

保育学科の学生が中心となって、幼児期の子どもたちが楽しめる遊びを企画・運営しています。

【日時】7/20 (土) 10:00~12:00

【場所】九州龍谷短期大学 5階

【対象】未就学児

【参加費】無料

【内容】粘土遊び、楽器作り、造形あそび、ゴーカート、宝探し、パネルシアター、巨大パズルなど楽しい企画が盛りだくさんとなっております！

九州龍谷短期大学
学園だより

鳥栖市

佐賀龍谷学園が設置する学校（短大・高校・中学）に、兄弟姉妹が二人以上在籍する場合、二人目以降のお子様の入学金が減免されます。詳しく述べは、各学校事務室までお問い合わせください。

幼保連携型 認定こども園

九州龍谷短期大学付属

龍谷こども園



こども園のひばりさんと龍谷高校・中学校の
お兄さん・お姉さんたちと花の苗を植えました！



日時：令和6年6月7日(金)